

令和6年度 第1回和光市自立支援協議会 会議録（要録）

1 日 時 令和6年8月6日（火）14：30～16：00

2 場 所 和光市役所3階 全員協議会室

3 出席者 17名

	所属団体等	氏 名
会長	跡見学園女子大学	福島 里美
委員	和光市南地域生活支援センター	伊藤 誠子
委員	和光市基幹相談支援センター	真田 光一
委員	和光市北地域生活支援センター ひなげし	磯野 愛
委員	障害者支援施設すわ緑風園	吉田 宏子
委員	社会福祉法人 和光福祉会	小指 弘彰
委員	特定非営利活動法人ポコ・ア・ポコ	山本 恵子
委員	和光市就労継続支援B型事業所（精神障害者） ワンステップ	後藤 雅典
委員	和光市児童発達支援センター やまぼうし	相澤 操
委員	埼玉県朝霞保健所	小林 郁子
委員	埼玉県立和光南特別支援学校	森木 麻菜美
委員	和光市教育支援センター	瀧本 浩子
委員	和光市身体障害者福祉会	下川 初江
委員	和光市社会福祉協議会	木宮 健吾
委員	公募による市民	小川 真紀子
委員	公募による市民	谷口 雄樹
委員	その他市長が必要と認める者	高田 奈歩

4 欠席者 2名

	所属団体等	氏名
副会長	和光市心身障害児・者を守る会	深野 正美
委員	朝霞公共職業安定所	栗原 理恵

(事務局) 障害福祉課 三富課長 中村課長補佐 簗和田統括主査 米澤主任

5 傍聴者 8名

6 議題

(1) 相談支援部会について

○相談支援部会の概要、構成委員（案）

【事務局】 相談支援部会には、相談支援の中で生じる課題等の洗い出しや、解決方法の検討等をしていただき、自立支援協議会で報告や提言をしていただきたい。また、相談支援部会を通じて、相談支援の連携の強化や、支援力の向上につながればありがたい。構成員は、部会の専門性を考慮し、伊藤委員、押領司委員、磯野委員、後藤委員、木宮委員、山本委員、以上の6名を提案させていただきたい。部会の構成委員を決定できたら、今後の日程等の詳細は別途調整させていただきたい。

【福島会長】 事務局の説明について、ご意見等があればお願いしたい。

【委員一同】（質問、意見なし）

【福島会長】 それでは、伊藤委員、押領司委員、磯野委員、後藤委員、木宮委員、山本委員を相談支援部会の委員に指名する。部会の開催日程等は事務局と調整することとする。

(2) 基盤整備における協議方法について

資料4 第七次和光市障害者計画・第7期和光市障害福祉計画 第8章

【事務局】 計画の中で、サービス基盤整備の検討・実行については「可能な限り自立支援協議会にて協議を行い、市の意思決定を行う」「質の高いサービスを提供できる事業所、付加価値の高いサービスを提供できる事業所を優先する」としている。和光市の事業所に必要な質や付加価値について、意見をいただき、それを参考にしながら、最終的に市の意思決定につなげていきたい。必要な質や付加価値については、相談支援部会でも協議いただき、報告や提言をいただければありがたい。この場でも、和光市に必要な質や付加価値といったものを、ご意見いただけるとありがたい。

【 福島会長 】 事務局の説明について、ご意見等があればお願いしたい。

【 伊藤委員 】 これから相談支援部会ができるということで、市民に必要なものを検討していくことになるが、具体的な施設の必要性について、相談支援部会の場において提案、協議をしていくという認識でよろしいか。

【 事務局 】 相談支援部会で、そのようなことについても検討していただきたい。

【 福島会長 】 委員の意見、相談支援部会での報告や提言を参考に基盤整備を進めるようお願いする。

(3) その他

【 事務局 】 和光市での支援に係る課題等について、ご意見いただきたい。それを今後の議題の参考とさせていただきたい。

【 福島会長 】 日頃感じている支援の課題等について、ご意見等があればお願いしたい。

【 相澤委員 】 やまぼうしは、医療的ケアが必要な児童を預かっている。医療的ケア児の預かりには、看護師が必要であるが、看護師の人材確保が非常に難しい。和光市には、医療的ケア児が放課後に通所できる放課後等デイサービスが少ない。小学校への進学後、子どもの預け先について不安を感じる医療的ケア児の保護者がいるため、医療的ケアについて、広く深く対応できる放課後等デイサービスができると良いと思う。

【 事務局 】 医療的ケア児に対する児童発達支援や放課後等デイサービスについては、計画P54(2)「重症心身障害児・医療的ケア児への支援」においても記載があるように、事業所の整備を推進していくこととしている。新設の相談があった場合には、慎重に話を進めてい

く。

【 高田委員 】 グループホームについて、以前は新設する予定がないとのことであった。和光市にグループホームがもっと増えれば良いと思う。

【 事務局 】 グループホームについても令和6年度から8年度までの計画の中で1～2箇所の整備を予定している。しかし、グループホームについては、和光市に開設したが、実際の入居者は市外在住が殆どであったという現状もあるため、相談支援部会等で相談しながらニーズは慎重に量っていきたい。

【 小川委員 】 和光市は、グループホームを開設する上での規制が厳しいという話を事業者から聞いた。和光市民が、和光市外のグループホームに入らざるを得なかったケースもあるのではないかと考えられるため、詳しく調べた方が良いと思う。また、質と付加価値の部分で、質はどのように見ているのか。大手のグループホーム＝必ずしも質が良いという訳ではない。意欲がある小規模事業所も多くある。指定をする際には、過去の事故の有無については調べるべきであり、誰がどのように指定を行っているのかは、可能な限りクリアにするべきであると思う。

【 事務局 】 和光市民が、市外のグループホームを利用しているということについては把握している。市外のグループホームを利用している理由については、家賃の問題や、提供されるサービスによるものなのかもしれない。そういった部分も含めて内容の精査は必須であると考えている。和光市は、権限移譲で指定権限を得ているため、事業者を市が選べる状況にある。そのため、新たな事業者の選定には、慎重に検討する必要があると考えている。指定の方法については、可能な限りクリアにするため、そこも含めて相談支援部会において相談していききたい。

【 木宮委員 】 職員体制の整備や各事業所のサービスの質の向上、虐待防止対策をはじめとする様々な課題を自立支援協議会の場で積極的に話し合っていていきたいと思う。

【 山本委員 】 グループホームを市内2か所で運営しているが、利用者及びご家族の高齢化により、利用者の通院回数の増加及び利用者の通院同行が難しくなっているご家族がいる。ご家族の通院同行が難しい場合、現在は事業所職員が対応している。事業所職員が通院同行を行う場

合、人件費がかかり、負担が大きい。このような対応を今後も継続するための費用やマンパワーが課題である。

- 【 後藤委員 】 ワンステップは、精神障害者の就労継続支援B型事業所であるが、当事業所で直面している問題として、介護認定前の保護者を介護しながら通所している“チャレンジドケアラー”が増えていることが挙げられる。このような問題が増えてきていることも、市に意識しておいていただきたい。
- 【 吉田委員 】 すわ緑風園では、地域生活支援拠点の機能を持たせるために動いており、緊急時の受け入れ機能の登録をする予定である。施設入所者以外においても、和光市の在宅の障害者が安心して暮らしていけるように、そして、求められる役割を果たしていけるよう使命感を持っているため、地域の事業者と連携していきたい。また、連携していくための後押しを市にしていきたい。
- 【 事務局 】 今後も引き続き、連携していきたい。
- 【 福島会長 】 障害福祉現場では、制度と予算の中で回りきらない部分を、現場の人たちの努力と善意で補っていることが多いと思う。今後も、現場で感じていることや、和光市に力を入れて欲しいと思う部分については自立支援協議会の場で意見を挙げていただきたい。事務局の方では、委員の意見を参考に市の課題に取り組んでいただきたい。

以 上